

鎮魂の思いと復興への誓いを込めて —東日本大震災仙台市追悼式

甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から15年となる3月11日、若林区文化センターで東日本大震災仙台市追悼式を行いました。式にはご遺族など215人が参列。地震発生時刻の午後2時46分に全員で黙とうをささげました。郡市長は「在りし日の笑顔を心に刻み、安全・安心な希望に満ちた未来を築いてまいります」と式辞を述べました。その後、南材木町小学校「南の星合唱団」の皆さんにより、歌がささげられました。

また、区役所など市内8カ所に献花場を設置。6620人の方が

▲南材木町小学校「南の星合唱団」の皆さんによる合唱



▲(写真左)若林区文化センターでの献花(写真右)勾当台公園で行われた3.11キャンドルナイト2026

訪れ、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りしました。

市政トピックス VRで東北6市の祭り りを間近に体験

東北6市の祭りが見られるVR(仮想現実)「Googleを仙臺緑彩館に設置しました。仙台七夕まつり・青森ねぶた祭・秋田竿燈まつり・盛岡さんさ踊り・山形花笠まつり・福島わらじまつりを目の前で見ていような感覚で楽しむことができます。利用日時は、土・日曜日、祝休日の午前9時半から午後5時まで。ぜひ体験してみてください。



▲実際の祭りの映像で臨場感を味わえます

市政トピックス 令和8年度の主な組織改正(4月1日付)

宮城総合支所管内のまちづくりのさらなる推進のために(青葉区) ●宮城総合支所の局区相当組織への再編

宮城総合支所管内の実情に即したまちづくりをさらに推進するため、青葉区宮城総合支所(部相当)を局区相当組織とし、「区民部」

火災予防の大切さを学んでいます。

市政トピックス これまでの軌跡をたどる —羽生結弦と仙台市展

3月4日から15日まで、地下鉄国際センター駅青葉の風テラスを会場に、「羽生結弦と仙台市展—復興とその先の未来へ」を開催しました。

東日本大震災後のチャリティー演技会から現在までの羽生結弦さんの歩みを写真で紹介したほか、震災後のシーズンで着用した衣装などを展示。また、令和4年のNHK紅白歌合戦にゲスト審査員として出演した際に着用していた仙臺平の羽織の額裏を初めて公開しました。

連日市内外から多くの方が訪れ、羽生さんの軌跡や故郷・仙台に寄せる思いを体感していました。



▲訪れた方は、足を止めて展示に見入っており、衣装などを写真に収める姿も見られました

仙台市の人口(対前月増減数)

男: 528,870人 女: 564,185人 計1,093,055人 (-714) 556,171世帯 (-243) 3月1日現在



▲岩手県大船渡市で発生した林野火災へ出動した緊急消防援助隊車両などを展示



▲来場者の手拍子と共に、仙台市消防音楽隊による演奏が会場に響きました

「まちづくり推進部」「保健福祉部」および「建設部」を新設しました。アジア太平洋防災閣僚級会議の仙台開催に向けた取り組みのために(まちづくり政策局)

●アジア太平洋防災閣僚級会議準備室の新設

令和9年秋に国連防災機関が主催するアジア太平洋防災閣僚級会議の仙台開催を支援するとともに、ホストシティとして歓迎と情報発信の取り組みを行うため、まちづくり政策局に「アジア太平洋防災閣僚級会議準備室」(部相当)を新設しました。

交流人口拡大に向けた東北連携を重視した観光戦略強化のために(文化観光局)

●東北連携推進室と観光交流部の再編

交流人口のさらなる拡大に向け、宿泊税を活用した観光資源の魅力向上を推進するとともに、東北連携を重視した観光戦略を強化するため、東北連携推進室(部相当)と観光交流部を再編し、「東北連携・観光交流部」としました。青葉山エリア複合施設の開館に向けて(文化観光局)

●青葉山エリア複合施設整備室の再編

青葉山エリアに整備を進めている文化芸術と災害文化が融合する

複合施設の開館に向け、各種の調整や先行事業を一体的かつ円滑に進めるため、まちづくり政策局防災環境都市推進室が所管する中心部震災メモリアル拠点に係る業務を青葉山エリア複合施設整備室に移管するとともに、課相当の青葉山エリア複合施設整備室を部相当としました。

●老朽化した下水道管路の計画的な改築の推進のために(建設局)

●管路保全課の新設

今後、老朽化した下水道管路の急激な増加が見込まれる中、更新需要を踏まえた計画的な改築を進めていくため、「管路保全課」を新設しました。

●学校保健・体育や学校給食の課題への対応のために(教育局)

●健康教育課の分割

部活動の地域展開や学校プールと水泳授業の在り方についての基本的な方針を踏まえた取り組み、小学校における給食費の完全無償化への的確な対応を含めた安全安心で充実した給食の提供、学校給食施設基本方針に基づく施策の推進などに対応するため、健康教育課を分割し、「保健体育課」および「学校給食課」としました。

●各組織の業務内容は、4月1日から市ホームページでもご覧いただけます



3.11 震災文庫を 読む

東日本大震災を語り継ぐための市民図書館に設けた「3.11震災文庫」。所蔵する約1万冊からよりすぐりの本を「紹介します」。

よみがえる自然 ふるさとに住みたい
東仙台輝き歴史クラブ 会長
北波 克彦



高槻成紀/著 山と溪谷社/刊



宮城野区中央市民企画センター制作

「唱歌「ふるさと」の生態学—ウサギはなぜいなくなったのか?」

「宮城野カルタ」

唱歌「ふるさと」の歌詞 「兎 追ひし かの山 小鮒 釣りし かの川 夢は今も めぐりて 忘れがたき 故郷」

「宮城野カルタ」は歌枕にも詠まれる「みやぎの」の名所、自然、文化が詰まったかたるです。このかるたの「ち」の札には「チドリたち、蒲生干潟で戯れる 野鳥と人の自然の広場」という文が載っています。この

干潟は震災直後、津波により壊滅的な被害を受け、生態系への影響が懸念されていましたが、徐々に元の自然に回復しており、現在は多様な鳥たちが集まっています。

そして毎年、兵庫県から高校生たちがこの地を訪れ、津波や防災などを学びながら現地の高校生と交流を深めています。

紹介した本などは、市民図書館でご覧いただけます

●紹介した本などは、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585